



吉備中央町

議会だより

第63号

令和3年7月20日発行
発行/岡山県吉備中央町議会
〒716-1192
岡山県加賀郡吉備中央町
豊野1-2
TEL.0866-54-2081
FAX.0866-54-1366
編集/議会広報編集委員会

待ちわびたプール開き



TOPICS

6月定例会	2
9議員が町政を問う	3
コロナワクチン接種	14

(御北幼稚園)

災害時に 備えてIP無線機購入

6月定例会

6月議会は8日開会。報告1件、承認1件、発議3件、条例改正8件、3年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算2件、その他議案2件が上程され審議。全ての議案が議決され、22日閉会した。

繰越明許費報告

(主なもの)

- 新型コロナウイルス感染症対策追加給付金事業 1億1100万円
昨年度に引き続き、町民に配布したキャッシュレスカードに1万円を入金する。疲弊した町の経済を少しでも元に戻すため、町内業者へのお金の流れを促し、町の活性化を図ることを目的とする。
- 新型コロナウイルス感染症対策小規模事業者光熱費助成事業
- 情報処理事業（光ケーブル化工事など）
- 協働のまちづくり寄付金事業（返礼品の発送）
- 小規模ため池補強事業

(宮地・西) など

条例改正

- 税条例の一部を改正する条例
- 押印の見直しに伴う関係条例の整備等に関する条例
- 証明等手数料条例の一部を改正する条例
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 心身障害者医療給付条例の一部を改正する条例
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 介護保険条例の一部を改正する条例

- 火葬場条例の一部を改正する条例
- 農林業体験研修棟条例の一部を改正する条例

その他

- 町道路線の廃止について（佐与谷線）
- 財産の取得について（携帯型IP無線機75台）660万円
日本全国で通信通話が可能であり、音声以外に画像や動画データを送受信できる。（消防用などで運用）

一般会計補正予算

(主なもの)

- 低所得子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯以外への給付金と事務費）765万円
- 多様な馬の活用等取組支援事業補助金200万円
(公社) 日



ふれあいが心を育む

診療所特別会計

補正予算

- 下加茂診療所運営費 85万円（備品の購入）
- 駐車場整備工事（吉備高原小学校周辺）1000万円

ここが聞きたい

9 議員が一般質問

質問の順番はくじ引きによる

(6月16日)

ページ	議員名	質問項目
4	黒田 員米	新型コロナ対策 IP無線
5	渡邊 順子	施設整備 新型コロナ禍での学校生活 マイナンバーカード
6	日名 義人	新型コロナ対策 スーパーシティ構想 ICT教育
7	河上真智子	新型コロナワクチン接種 地域防災
8	丸山 節夫	農業振興策 商工活性化支援 観光事業

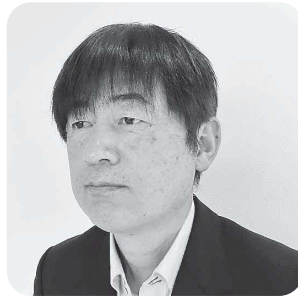
(6月17日)

ページ	議員名	質問項目
9	成田 賢一	買い物環境の整備
10	加藤 高志	小学校等の適正配置 文化財の整備 町職員の採用
11	西山 宗弘	教育行政 新型コロナワクチン接種 役場の役割
12	山崎 誠	新型コロナ感染防止対策の影響 福祉移送サービス 交通支障木の伐採

一般質問とは、町の政治行政全般にわたり、町長の方針や見解、説明を求めるものです。

弱者へのコロナの影響は

精神・身体・経済的にある



黒田 員米

問

問 ①生活保護の申請条件の周知はどのようにしているのか。申請時に親族に扶養照会はおこなうのか。

②コロナによる影響は高齢者、障がい者、生活保護受給者、ひとり親家庭など経済的・社会的に弱い立場の住民へすでに発生しているのか。または、今後発生が想定されるとすればどのようなことが予測されるのか。

答

③コロナによる集団検診、乳幼児検診、予防接種は。

答

奥野福祉課長

①生活保護には、担当部署がその内容に依じて丁寧な条件の説明をおこない周知をしている。さらに地域や民生委員から情報を集め対応をしている。

親族への扶養照会は、できるだけ多くの情報を収集する必要があるため、基本的には問い合わせをしているが、申請者が拒否をした場合は、その意思を尊重しておこなわない。

答

山本町長

②精神的、身体的に大変影響が出ていると考えている。特に、高齢者の健康面は、サロンなどの交

流の場が中止となり、人の交流や運動の減少、それに伴う認知や運動機能の低下が大変心配である。

障がい者支援施設での、日中一時支援や通所の作業支援の利用は減っている。今後そうした施設が休業となれば、大変大きな影響が出てくるものと想定する。

ひとり親家庭などは、収入の減少という影響が出てくると思われる。

今後、緊急事態宣言が解除されれば、閉鎖している集いの場、サロンなどは十分な安全対策を取った上で早急に再開したい。一度止めてしまうと、なかなか出かける気持ちにならないという方へは、役場から声かけをし、地域の方にもお互

い声かけをしていただき「みんなでもた楽しくやろうよ」という機運にした。ただ、具体的な方法はまだ定めていない。

③個別健診

は、予定どおり実施。乳幼児健診も個別での健診実施。受診後に相談があれば、随時保健師が応じる。予防

接種はその都度対象者に案内を通知し、個別接種で対応する。

IP無線

問

IP無線の長所と短所は。不感地帯解消の方法は。

答

岡本総務課長

IP無線は、携帯電話回線を使用した無線で、日本全国で通信が可能。また、音声以外に画像や動画データを送受信で



もしもの時のIP無線

きる。長所は通信距離を問わない、無線免許が不要など。短所は携帯電話回線のエリア以外では通信ができない。

今回、660万円で75台購入。年間維持費は約180万円。利用できない不感地帯の解消について調査を進め、どのように利用可能範囲を広げているか研究し、各機関へも協力依頼をする。



渡邊 順子

問 ホットパーキングの改修は

答 できることから早急に進める



改修を待つホットパーキング

問 賀陽庁舎前のホットパーキングは、屋根がないことで、車いすの利用者や必要な方にとって利用しにくく困られているが、考えを尋ねる。また、

町内の観光地に設置されているトイレ環境では宇甘溪「岩屋のかわや」や道の駅「かもがわ円城」のトイレなど、気持ちよく利用したい。清掃を含めた環境整備や改修、ユニバーサルデザイントイレの設置はどうか。

答 **山本町長** 二つあるホットパーキングのうち、建築基準法の中で、とりあえず一つでもいいから屋根をつ

け、濡れずインターホンを押せば、総合窓口につながる対応できるように、できることから早急に進めていきたい。

まずは水洗トイレをやっ ていきたい。維持管理は、委託しているが手が行き届かないところもある。担当課でも見回りをし、きれいな状況で使えるよう今後努力していきたい。「岩屋のかわや」は、水道水や浄化槽を付けるには大変費用がかかる。樹木を短く切るとか、照明を増やす、年2回ほどやってきた循環槽の清掃をこまめにするように心がけていきたい。

道の駅「かもがわ円城」のトイレは、今年度、県の予算がつき、改修が始まる。きれいなトイレになることを期待している。

問

1年以上続くコロナ禍での学校生活で、行事の中止や延期、縮小されてきている。現在の子ど

「コロナ禍での学校生活

もたちの様子や状況に併せて、いろいろな場面でのマスク着用の考えを尋ねる。

答 **石井教育長** 学校行事が縮小・延期された場合には、代替え措置としての場を作ったり、時期をずらしたりするなど工夫している。

当初は寂しさを感じていた児童・生徒も新たな目標に向かってチャレンジする意欲が芽生えるなど、うれしい効果も出てきている。現在のところ、子どもたちがストレスを抱え込むといったような報告はない。

運動時のマスク着用による身体へのリスクを考慮して、体育の授業におけるマスクの必要はないが、感染リスクを避けるため地域の感染状況を踏まえ、児童・生徒の感覚を十分に確保するように対応している。学習前に児童・生徒の健康状態を把握し、体調がすぐれない児童・生徒の体育の授業への参加を見合わせるなど、安全に十分務めるよう学校を指導。登下校につい

ては、学校長判断になるが、間隔を前後に空けるなどの判断ができて、登下校ができればそれも可とされている学校もある。

マイナンバーカードの対応

問 マイナンバーカードの現状と今後の対応を尋ねる。

答 **町長** マイナンバーカードの交付状況は、5月31日現在交付件数が2775件、交付率24・8%である。

今年度に入り毎月200件を超える交付をおこなっている。毎週水曜日の延長窓口などでも対応している。今後の取り組みとして、機器の整備をおこない、町内各所での出張申請や、吉川支所でも申請受付ができるよう検討していきたい。その上で、マイナンバーカードの利活用や、簡単に申請できるということを広くPRをし、情報発信にも努める。交付率の向上を今後目指していきたい。

コロナ感染対策は万全か

県指導下で必要措置を



日名 義人

問

答

問 吉備中央町でも新型コロナウイルス感染が報告されているが、県・保健所から町対策本部に詳細な情報が下りてきているのか。また現感染対策についても尋ねる。

答 **山本町長**

感染対策・対応は基本、県・保健所の指導下で実施している。また個人情報保護の観点から、感染者が特定できるような情報提供はない。町としては全

町民を対象に「蔓延防止の働きかけ」公共施設の利用停止」などの対策をおこなった。クラスターが予測される時は、県対策班が現地入りし、感染情報の収集をおこない、その際町からも情報連絡派遣員が求められる。

問 情報を共有し、活動内容の把握に努めていきたい。県レベルでの医療逼迫も言われているが。

答 **町長**

県の逼迫状況はレベル4と言われるが、町内では、大変緊迫した状況とは聞いていない。

スーパージェイ構想

問

昨年来、吉備高原都市内を特区対象にして、企業や大学などとの組織づくり、構想づくりを公募に向けて進めて来たが、住民からは期待と不安の声が聞かれる。

答 **片岡企画課長**
 特区制度は規制の特例制度を定めるものであり、個人情報保護法・条例の規制緩和を対象にしている。県・町・大学などで構成する「データ連携基盤」へ町が管理・保有する情報も提供となるが、大胆な規制緩和が言われる中、町民のプライバシーは守られるのか。またサービスの提供主体はどうなるのか。サービス提供の公平さは守られるのか尋ねる。



先進サービスの恩恵は

ない。また、住民からの個人情報提供も同意（オプトイン方式）を得て活用される。全体構想をおこなうのは町であるが、事業により主体は替わる。

ICT教育

問

財界リード、中央教育審議会も答申。GIGAスクール構想は、児童・生徒へのタブレット端末提供へと進み、個別最適化された「オンライン教育」が強調される中、中央教育審議会は「協働的な学び」の重要性も指摘している。学校現場、教師たちの

答

石井教育長

GIGAスクール構想実現に向け、町も国庫補助事業を活用し、一人一台のタブレット端末整備、WiFi環境整備をおこない、既に理科の観察や社会の調べ学習に活用され、子ども達も楽しみながら、自分の課題に適した学習に取り組んでいる。学校間をつなぐオンライン授業、端末利用の授業研究も進められており、今後は参観日・学習発表会、さらに職員会議での活用などの報告を受けている。

「デジタル化」「ソサエティ5.0社会の実現」と変化する社会に前向きな対応が求められる中で、「個別最適な学び」か「協働的な学び」デジタルかアナログかの二者対立ではなく、発達段階や学習場面に応じて双方の良さを組み合わせることも必要であると考えます。

その他、公共交通網確立、農業再生について問う。



河上真智子

問 今後のコロナワクチン接種は

答 順番にできるだけ早く

新型コロナウイルス接種の現場を担当している看護師として、いままでの振り返りと今後の接種の進め方について尋ねる。

問 電話予約はたいへん混乱し、高齢者には不評だった。今後は改善されるのか。

答 **山本町長** なかなかつながらないとの苦情をたくさんいただいた。今後はコールセンターの電話回線を増設し、インターネットでの受け付けも併用しておこなう。

問 自分で予約ができない方が接種の機会を逃しているのではないか。

答 **塚田保健課長** そのような方をピックアップしている。希望される方には次の機会に接種していただきたいと思う。

問 町長、町職員の接種は職務上必要だと考えるがどのように進めるのか。また、抵抗力の弱い乳幼児を預かる保育園・こ

ども園の職員にはできるだけ早い接種をと思うがどうか。

答 **町長** 自分は順番がきたらできるだけ早く受けようと考えている。職員に関しても順次進めていきたい。保育園などの職員にもできるだけ早くと考えている。

問 災害出動の多い消防団員はどうか。

答 **町長** 重要な役割を担っているためできるだけ早くとは思っている。

地域防災
梅雨時期を迎え多くの方が自然災害に対する不安を保持されていると思う。新しくなったハザードマップや防災セットが配られた。これらを活用するための周知はどのようにおこなうのか。

答 **岡本総務課長** 梅雨時期や台風シーズンに合わせて周知したい。

チェックしてみね



問 町の防災・火災情報メールの利用状況は。また、利用促進のためにはスマホなどの操作を覚えていただくための講座が必要。デジタル化への取り組みは。

答 **総務課長** 約1100人の登録がある。公民館へのWi-Fi整備は予算計上している。

問 危険区域内にある指定避難所の安全性は担保されているのか。

答 **町長** 講座については公民館のパソコン教室や教育委員会でのスマホ教室などを利用するといいいのではないかと考えている。

答 **総務課長** 地元の要望や代替施設がないなどの事情があり、一概に変更はできないが、随時評価をおこなっていく。

問 消防団活動は消防・災害対応など多岐に渡る。団員数も減っている中で個々の負担は増えている。施設、装備の整備による負担軽減策が必要と考える。

答 **総務課長** 負担軽減策は分団の再編などの機会をとらえて順次進めていきたい。

問 災害出動の際、消防団員の安全確保は必須である。出動基準はどのように決められるのか。

答 **総務課長** 出動の際には災害対策本部と消防団長・副団長との協議をおこなう。安全の確認をおこなったうえで危険箇所には立ち入らないようにとの指示を厳守してもらいながら活動していただく。

農畜産物価格低下対策は

ふるさと米と新期需要米の活用を



丸山 節夫

問

答

などの新規需要米を推進し、農家所得の安定を図る。豆類は、気象条件により、価格変動が大きい作物である。生産者の安定収入を確保することが必要であり、町独自の堆肥助成制度の活用をお願いする。

開発事業補助金制度で、新たな特産品の研究開発や販路開拓に係る経費補助を進める。また、JJAや商工会、日本政策金融公庫など関係機関との連携を図り、体制整備を支援する。

耕作放棄地対策

県では、多面的機能交付金の活用団体に対し、自走式草刈り機の貸し出し事業を今年度から進めている。共同作業でおこなう水路や農道などのケアを目的としている。

問

農業従事者の高齢化や人手不足、産物価格の低下などに起因し、更なる放棄地の増加や分散化が予測される。自走式草刈り機や鳥獣撃退器など、農業用機器リース事業の取り組みの可否を問う。

答

農林課長

農地畦畔法面管理

問

芝生植生の実証（今年3月定例会の答弁）に関する進捗状況を問う。

答

農林課長

現在、新たな畦畔管理の検証のために設置したカバープランツの実証圃場（吉川地内）で、管理者による育苗が進んでいる。今後、岡山地域農業技術者連



ラジコンで楽チン

絡協議会と連携し、畦畔管理の効率化や省力化の効果測定、データ集積が完了次第、営農組織や農業法人、集落協定代表者に対し研修会を実施する。

商工活性化支援

問

町の主要施策であるブランド化の確立と販路拡大の取り組み効果とその評価を問う。

答

根本協働推進課長

産地化や農産物の6次化事業の成果として、ワインやジャムなど多くの果汁産品を売り出し、あわせて自然薯やジビエ(猪肉)などブランド化につながる開発を進めてきた。内容は、町観光協会HPなどに掲載しているが、販路拡大までには結びついていないのが現状である。

問

人口の減少や食生活の変化、コロナ感染症の拡大により、米余り減少や、豆類、畜産物など、町内生産物価格の下落が懸念される。生産者の不安を解消すべき行政の実効施策を問う。

答

山本町長

米価格下落の進行や、豆類などの価格の変動に対し危惧している。米対策としては、ふるさと米の出荷や米粉用米、飼料用米

問

町の総合計画に掲げる6次産業化の体制整備及び、販売ルート開拓支援の具体的手法を問う。

答

山口農林課長

町ふるさと特産品

その他、観光事業の取組み、消防行政について問う。



成田 賢一

問

買い物環境の改善に予算を

答

地域からの声を優先的に

問

総合計画、地域生活環境整備では、買い物環境の整備と生活サービス確保の2つの柱がある。生活サービスの確保、小さな拠点づくり事業には今年度も予算を確保しているが、買い物環境の整備予算は、平成29年度から令和3年度までゼロが続いている。町民アンケートによると、買い物環境に不満を感じている割合は、平成28年度は57%、令和2年度では70%であった。この現状への見解は。研究や実証実験をするためにも予算は必要だと思いが。

答

山本町長

不満度が軽減するような現状になっていない。予算は、必要だからつけないというのではなく、何かあったら補正で対応するぐらいの思いだ。各地域で、もし何かやろうと声が上がったときには優先的に予算をつけていこうと思う。

問

平成24年に町長就任以来の町の買い物環境に関する見解は。

答

町長

町民が安心して暮らせる環境をつくるために、買い物環境の整備は大変重要である。新山地区の取り組みをモデルとして広めていっていただきたい。商工会などとしつかりとタグを組んで、多様な買い物環境の充実を今後とも図っていきたい。

問

平成29年度に買い物環境整備計画書が策定された。平成30年の買い物環境整備研究部会以降、会議はおこなわれていない。年度ごとに何かを実行していくこと、会議を継続することが必要なのは。

答

片岡企画課長

買い物環境整備計画では、商品を届ける仕組み、移動手段の提供、店舗の整備を、三段階の方向性をまとめた。策定後、検討を重ねたが、改善策が見つからず、会議は終わり、現在に至っている。今後も情報収集に努める。

問

平成28、29年度の会議で、ドローンで

の商品配達、ケーブルテレビのデータ放送を利用して自宅で購入物ができる仕組みが提案されていた。研究すべきでは。

答

町長

規制もあるが、スーパーシティ構想などで実証実験をして町内へ広めていけば、大変いい施策になると思う。

問

現在、町では巡回バスルートを作成している。町内巡回バスによる商品配送も考えてみてはどうか。

答

町長

交通事業者の方のご理解、地域の商店にも協力していただいて、実現すれば素晴らしい提案だ。

問

平成26年度商業セ

ンサスによると、小売業において、町外への流出金額は60億円と推計される。例えば5%の3億円、一人当たり3万円を町内消費されるような取り組みを行政、商工業者、町民が共有することが大切なのは。保健課は、64万円の予

算で、検診を受けるとベリーグッドカードにポイントが入る事業を始めた。この事業をほかの課や教育委員会、公民館などに広げてみてはどうか。スーパーシティ構想の地域ポイント事業構築費1億6000万円、年間運用費2000万円と比べ、現在のポイント事業を活用すれば、予算が抑えられるが。

答

企画課長

町内全域で地域の経済活動に利用できる仕組みとなれば地域経済の活性化にもつながるので、商工会など関係団体と研究していきたい。



みんなで支え合う小さな拠点を各地で

適正配置の検討進捗は

【答】

一歩踏み込んだ方向性を提示



加藤 高志

【問】

現在、「小学校等の適正配置」を検討中だが、コロナ禍の対応もあり、進捗に陰りを感じている。執行部側から指針について付与するなど、ある程度導く検討となるように誘導あるいは考慮できないか尋ねる。

【答】

石井教育長 今年度に入っては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより、現在のところ一時的に

会議や視察を延期する状態となっている。今後は、これまで検討委員から意見をいただいた内容を取りまとめながら、吉備中央町の子どもたちのためにどうするのが最もよいのかを第一に、町の魅力を生かした学校づくりを考えながら、ある程度これまでより一歩踏み込んだ方向性を示し、御提案をしていただこうと考えている。

児童組織の新編

【問】

現在、各学区で児童が運営されている。現状単独運営の既学童が、適正配置後の新校により相乗できるように、学童の本部機能を新設し、各学

【答】

教育長 児童組織の新編については、学校の統合に併せて児童組織の再編も協議が進められるものと考えている。

文化財の計画的整備

【問】

文化財は、歴史・文化などの正しい理解に必要であり、将来の文化向上発展の基礎である

【答】

石井事務局長 まず文化財保護法の改正による文化財保存活用計画策定に向けた準備を進めていきたいと考えている。



県内最古の吉川資料館

が、町内各文化財の経年劣化や保管に留まる管理体制など、管理が適切であると評価し難い。文化財の延命に繋がる計画整備及び周知活動取組みへの認識を尋ねる。

また、文化財を観光の資源の一つとして捉え、広報紙などで周知を図りながら子どもたちにも我が町の文化財を学び伝えていくことなどをして、それを真に活用していくことが町、ひいては町民の貴重な財産を守っていくことにつながると考えている。今後研究し

皆さんに周知できるように検討していきたい。

町職員の採用

【問】

現状町職員の半数近くが町外在住者で構成されている。災害などの不測事態発生時における即応態勢に不安を感じる。住民との距離を縮めるといふ観点からも町内採用率を重視すべく採用について検討できないか尋ねる。

【答】

山本町長 地方公務員法の規定もあり、難しいと考えるが、現実には地元採用が増えることで、パンデミックや災害などの有事対応、住民サービスへのきめ細やかな対応を考えると、やはり身近な職員が多い方が良く思うので、しっかりと県の人事課などと協議をし、町内採用の率を高める方策を検討したいと思う。

また、町内の方々々が吉備中央町の職員になっていただけるとPRや町づくりが大事であるとも考える。



西山 宗弘

問

教育現場の諸問題の対応は

答

見守りと早期対応が最重要

問

中学校統廃合から7年が経過しているが、その間には転校生の受け入れなどいろいろな問題が発生していると思うが、教育委員会として教育現場をどのように見ているのか尋ねる。

また、町長の子育てという観点からの教育に関する考え方を尋ねる。

登下校時のスクールバス乗車中の生徒の態度などの問題を先生方がどのように把握しているのか尋ねる。

答

山本町長

まちづくりにおいて子どもは宝ということは紛れもないことである。そして、子育てしやすい町づくりをする。そのことは、まちづくり中での大きな要点だと思っている。その中でも特に教育行政は、安心して教育が受けられる環境整備が大事であり、教育委員会に担っていただきたいと思っている。

答

石井教育長

日頃の学校生活の中で児童・生徒を注意深く



マナーを守ってみんなで利用

見守りながら変化に素早く対応できるよう、校内でのケース会議や保護者との面談などを学校にお願いしている。

そうした中で支援を必要とする生徒が現れたときには、教職員だけで無くスクールカウンセラーや児童相談所などと連携して問題解決に早期に取り組み、多方面からの支援が、継続的におこなわれるよう取り組んでいる。

スクールバス利用時のルールやマナーの指導を学長にお願いし、乗車に当たってのルールやマナーの学びの場となるよう指導していきたい。

ワクチン接種

問

町の実施した65歳以上の集団接種では、スタッフの対応が親切丁寧で良かったとの声を多く聞いた。

関係者に感謝を申し上げる。しかし、行政を束ねる町長、副町長、町職員など行政に携わる皆さんは早く接種を済ませ、行政に専念して欲しいと思うが町長の考えを尋ねる。

答

町長

ワクチン接種は現在65歳以上の高齢者の方の2回目の接種が進んでいるところである。次には今回できかなかった65歳以上の方、基礎疾患のある方、60歳、64歳の方、その後59歳以下の方へと順次接種を進めていきたいと思っている。

また、町長、町職員へ大変温かい気持ちのあるお言葉をいただきありがとうございます。このことについては、接種のキャンセルが発生した場合、ワクチンの

役場の役割

問

町庁舎の案内表示は簡単に書きすぎて、町民には分からないのではないかと思うが、町長はどのように認識しているのか尋ねる。

答

町長

行政の業務内容は町民の生活に幅広く関係した多種にわたる分野の業務で成り立っている。このことは、関係する法律、条例などによるものでそれぞれの定めに従って迅速、確実、公平に業務をおこなっていかねばならない。今後、丁寧な対応を指導していきたい。

コロナ感染防止対策の影響は

通常の行政事務に停滞はない



山崎 誠

問

答

問 ワクチン接種への対応などで多くの職員が割かれている。行政事務に影響は出ていないか。

答

町長

影響がないわけではないが多くの職員が残業などで対応しており、通常業務に大きな停滞はない。

問 コロナウイルス感染症が延期・中止されているか。どのような影響が出ているか。

答

山本町長

高齢者や基礎疾患を有する人は重症化リスクが高いことから、ふれあい交流事業、集いの場、認知症カフェなど自粛をお願いしている。そのため交流や運動の機会を失い、身体機能の低下が心配される。

運動時はマスクを着けない

問

コロナ禍で児童のストレスが増加など影響はないか。また体育の授業などでマスク着用を強いていないか。心肺機能の未発達な児童のマスク着用は注意が必要で、文科省も体育の授業ではマスク着用の必要はないと新たな指針を

示している。学校現場の指導は徹底しているか。

答

石井教育長

コロナ禍により、心身に変調をきたす子どもが生じたとの報告はない。不登校児も増えていない。また、体育授業や部活などのマスク着用は、文科省の指針にのっとり運動時にはマスクを外し、安全対策に努めるよう指導している。

福祉移送サービスはきめ細かく

問

福祉移送サービスは今年4月、社会福祉協議会から民間業者に委託変更された。きめ細かい対応ができているのか懸念がある。運用はどのようになっているか。

答

奥野福祉課長

今年度から対象者を要介護1以上とし、要支援1・2の人を除いた。理由は、ふれあいタクシーやデマンドタクシーなど交通施策の充実が図られているためである。

問

福祉移送サービスは心身にハンディを抱えている人が対象であり、単純な移送サービスとは違う。社協から民間業者へ委託され一人ひとりの状況把握はできているのか。

答

福祉課長

民間業者と情報共有をおこなうため定期的に連絡会を開催している。委託先を社協から民間業者に変更したのは町の交通政策のなかで総合的に判断した。

交通支障木の伐採に高所作業車の導入を

問

交通支障木の伐採は、住民課、建設課、農林課に所管が分かれ年間計約800万円の予算が充てられているが十分ではない。どのような見直しを

持っているのか。

答

高見建設課長

支障箇所は年々増加し、通行支障となる箇所も確認している。緊急性の高いところは予算の追加も検討し対応する。

問

近年多くの業者が、高所作業車により機動的、効率的に支障木を伐採している。導入の考えはないか。

答

建設課長

高所作業車による支障木伐採は、作業効率も良く安全面でも有効と思われるが、予算や人員確保など課題がある。



危ないよ支障木

追跡

あの時の質問
どうなってる？

過去の一般質問の追跡調査を行い、進捗状況・結果を報告する。(平成30年12月定例会の質問)

Q 質問

平成30年7月豪雨は多くの被害と教訓を残した。河川の土砂撤去、しゅん濇の現状と予定を尋ねる。

A 答弁

しゅん濇要望は、県管理26カ所、町管理12カ所の要望が出ているが必要個所はもっと多いと認識している。県管理河川の施工は現時点で未定、町管理は従来事業と合わせ7カ所を予定している。

その後(建設課)

平成30年7月豪雨以来、町民の防災意識の高まりから、河川の土砂撤去の要望が多く寄せられた。

その中で県・町管理河川ともに毎年3カ所程度の土砂撤去を実施しているが、要望箇所が多くすべての個所に対応できていない状況である。

今後とも計画的に予算確保をおこない、早期の完了を目指していく。



工事前



工事後(豊岡川)



Q 質問

町の公共交通計画に掲げる「地域に応じた公共交通」の理念を基に、課題を解決し、まちづくりに長期的、多角的に取り組むためにも専門部署などを設けてはどうか。

A 答弁

来年度から実施予定の岡山医療センターへの実証運航の実施計画を詰めると共に、巡回バスの検討と併せて専門班などの設置を検討したい。

その後(総務課)

町の公共交通計画に基づき、町内巡回バスの実証運航開始に向けて準備を進めており、現在その事務は総務課行政班が担当している。有償バスの運行に当たっては、地域公共交通に関する専門知識が必要であり、運輸支局、県民生活交通課などの専門機関と連携を図っている。専門班の設置は引き続き検討をおこなう。

おしえて ワクチン接種



注射って痛い？

注射針はとっても細かいので心配ありません。薬液もほんの少しです。身近に接種された方がいらしたら聞いてみてください。接種された方は「痛くなかったよ」と話されていました。もちろん注射はベテランの看護師さん達が担当してくださっています。

痛みなどの好ましくない変化。通常の予防接種でも起こるが、ほとんどは2〜3日で治まる生体反応です。一時的な症状で不快ですが、本当にかかった場合に比べると軽く、鎮痛解熱剤で対応できます。

副反応が心配ですが：

接種後は経過観察会場で30分ほど過ごしていただきます。会場内では看護師さん達が体調に異常がないかを常に見守っています。皆さんの不安な気持ちをやわらげたり接種後に注意していただきたいことや副反応への対処方法なども説明しています。

接種後は経過観察会場で30分ほど過ごしていただきます。会場内では看護師さん達が体調に異常がないかを常に見守っています。皆さんの不安な気持ちをやわらげたり接種後に注意していただきたいことや副反応への対処方法なども説明しています。

副反応ってどんなこと？

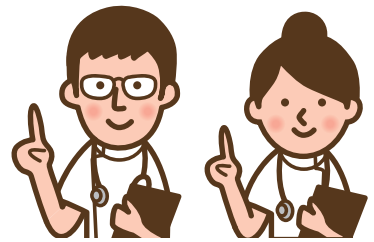
『副反応』とは「発熱や倦怠感、注射部位の腫れや



もし、異常があったら？

救護室には緊急時に対応できるように各種の装備や薬剤が準備してあります。

ご安心ください



常時、救急救命士さんも待機しています。医師・看護師と連携して適切な処置をおこなう体制になっていますのでご安心ください。

これから接種対象の皆さんへ

ネットなどでは様々な間違った情報やいたずらに不安をおおるような書き込みが流れています。例えば、「ワクチンで感染する」「このワクチンは、ウイルスそのものではなく遺伝情報の一部を使用しているだけなのでワクチン接種では感染はしません」「不妊になるのではないか」「新しいワクチンや薬が出るたびによく流される根拠が定かでない情報です。」

新しいワクチンに対する不安を感じている方も多いと思いますが、それもまた当たり前だと思います。これから接種される方は、飛び交う誤情報に惑わされず正しい情報を得たうえでメリット・デメリットを検討し、接種の判断をしていただきたいと思います。

正確な情報は、かかりつけ医に相談されるか厚生労働省や岡山県のコールセンターやホームページ、または「こびナビ」などをご覧ください。



編集後記

コロナ禍での土砂災害による深刻な被災地状況から、改めて「自分事として備える」ことの大切さを痛感しているところです。

オリ・パラの開催も気になります。まずは「新しい生活様式」を継続しつつワクチン接種をすすめ、一日も早く「いつもの生活」に戻れることを心より願っております。

本号では6月定例会の概要を掲載しておりますが、今後も「皆さま目線」の編集に心がけ「議会の見える化」に努めてまいります。

(加藤高志)

